

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳の生産量は0.2%増加 －

生乳の生産量は728万9,227 tで、前年に比べ1万2,704 t (0.2%)増加した。

図1 生乳の生産量の推移 (全国)

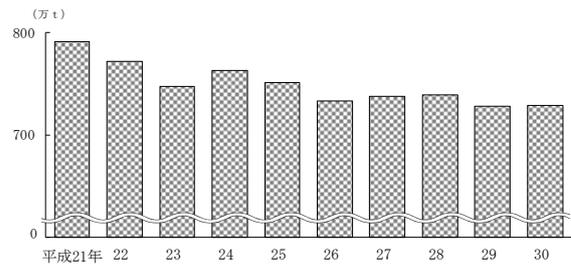
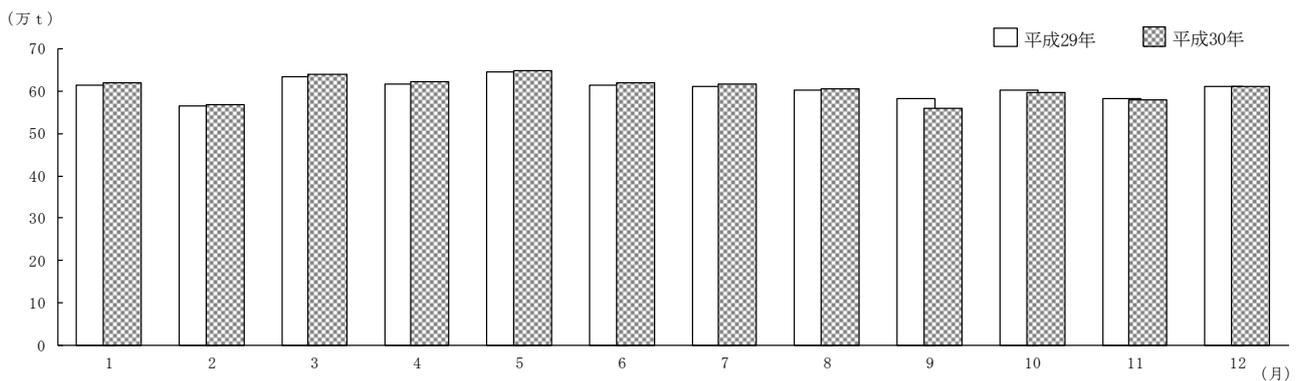


表1 生乳の生産量 (全国、北海道・都府県別)

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
平成29年	7,276,523	3,892,895	3,383,628	98.4	99.0	97.8
30	7,289,227	3,965,193	3,324,034	100.2	101.9	98.2

図2 生乳の生産量の推移 (全国) (月別)

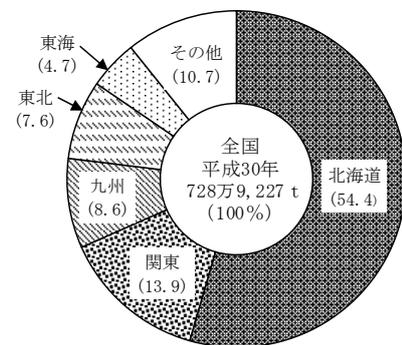


(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは54.4% －

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が396万5,193 t (全国に占める割合54.4%)で最も多く、次いで関東が101万2,647 t (同13.9%)、九州が62万6,603 t (同8.6%)の順となっている。

図3 生乳生産量シェア (全国農業地域別)



注：割合の計が100%にならないのは四捨五入によるものである (以下同じ。)

表2 生乳の生産量 (全国農業地域別)

年次	単位：t												
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
平成29年	7,276,523	3,892,895	564,863	83,338	1,036,338	114,780	358,267	172,554	282,106	121,322	625,302	24,758	
30	7,289,227	3,965,193	556,714	79,301	1,012,647	110,965	345,716	163,192	288,914	116,136	626,603	23,846	
対前年比 (%)	100.2	101.9	98.6	95.2	97.7	96.7	96.5	94.6	102.4	95.7	100.2	96.3	

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向けは0.3% 乳製品向けは0.1%増加 －

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は399万9,805 t、乳製品向け処理量は324万3,275 tで、前年に比べそれぞれ1万3,327 t (0.3%)、2,461 t (0.1%) 増加した。

図4 牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移（全国）

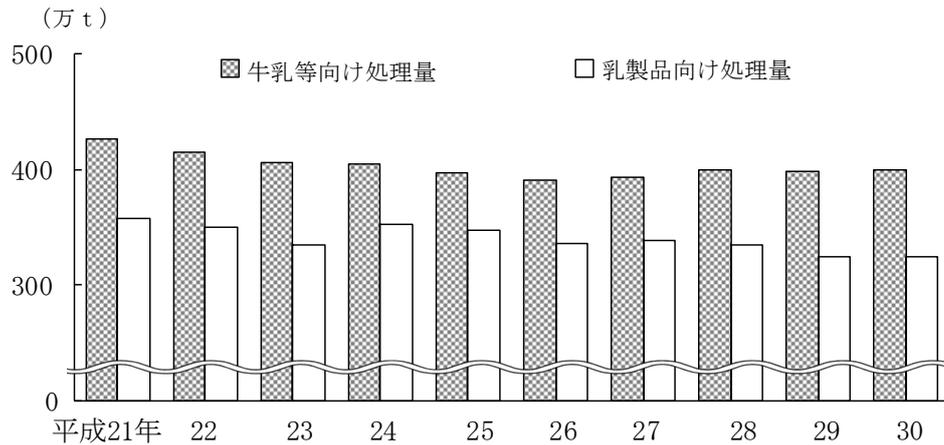


表3 生乳の用途別処理量（全国）

単位：t

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他	欠減
平成29年	7,276,523	3,986,478	322,564	3,240,814	49,231	9,214
30	7,289,227	3,999,805	350,351	3,243,275	46,147	9,918
対前年比 (%)	100.2	100.3	108.6	100.1	93.7	107.6

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

ー 牛乳の生産量は1.6%増加 ー

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は314万1,688k1で、前年に比べ5万909k1(1.6%)増加し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は41万4,331k1で、前年に比べ3万3,876k1(7.6%)減少した。

図5 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移(全国)

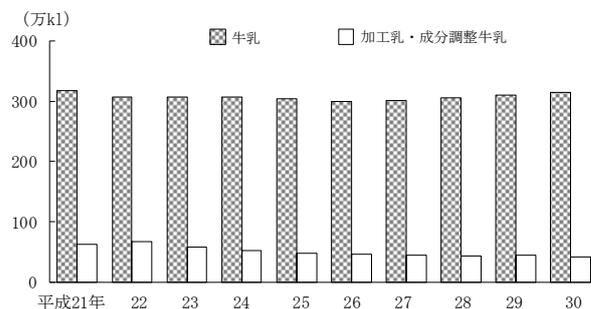
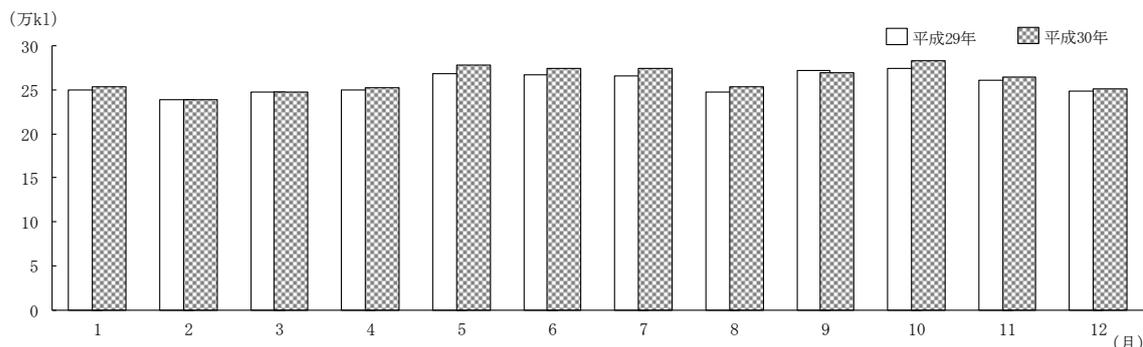


表4 飲用牛乳等の生産量(全国)

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	業務用	成分調整牛乳	成分調整牛乳
平成29年	3,538,986	3,090,779	299,317	448,207	53,573	352,642
30	3,556,019	3,141,688	326,726	414,331	49,866	317,415
対前年比(%)	100.5	101.6	109.2	92.4	93.1	90.0

図6 牛乳の生産量の推移(全国)(月別)



(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

ー 関東の飲用牛乳等生産量シェアは29.7% ー

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東が105万6,671k1(全国に占める割合29.7%)で最も多く、次いで北海道が55万3,875k1(同15.6%)、近畿が39万4,306k1(同11.1%)の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

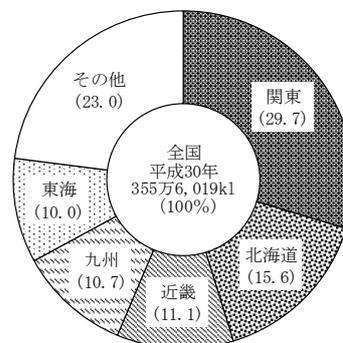


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

年次	全国農業地域別											
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
	平成29年	3,538,986	547,655	240,591	83,237	1,056,434	123,222	347,673	397,606	261,924	78,895	374,032
30	3,556,019	553,875	247,141	81,410	1,056,671	119,936	354,262	394,306	261,106	80,378	380,314	26,620
対前年比(%)	100.5	101.1	102.7	97.8	100.0	97.3	101.9	99.2	99.7	101.9	101.7	96.0

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量

ー はっ酵乳の生産量は0.4%減少 ー

乳飲料の生産量は112万9,372k1、はっ酵乳の生産量は106万7,820k1で前年に比べそれぞれ4万8,428k1(4.1%)、4,231k1(0.4%)減少し、乳酸菌飲料の生産量は12万5,563k1で、1,068k1(0.9%)増加した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

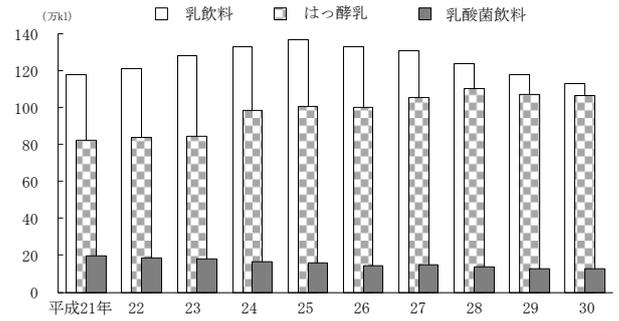
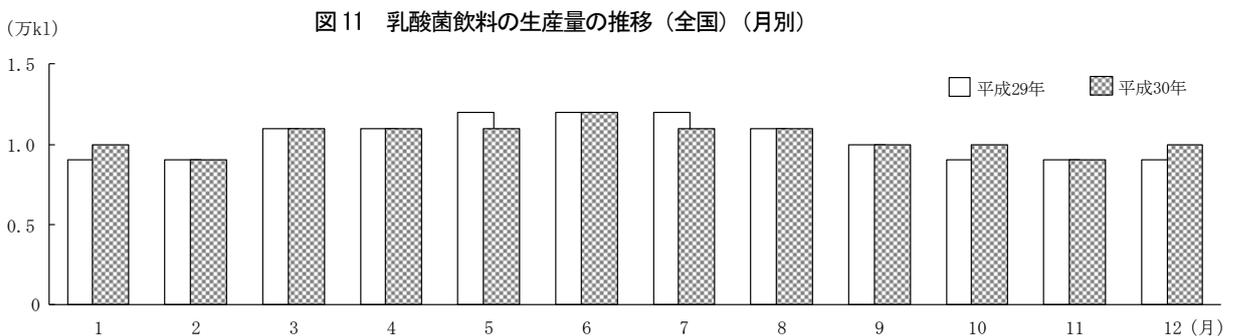
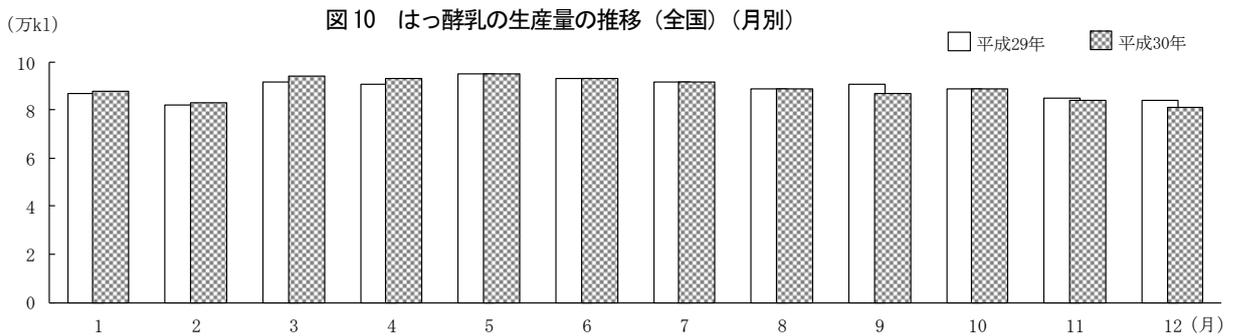
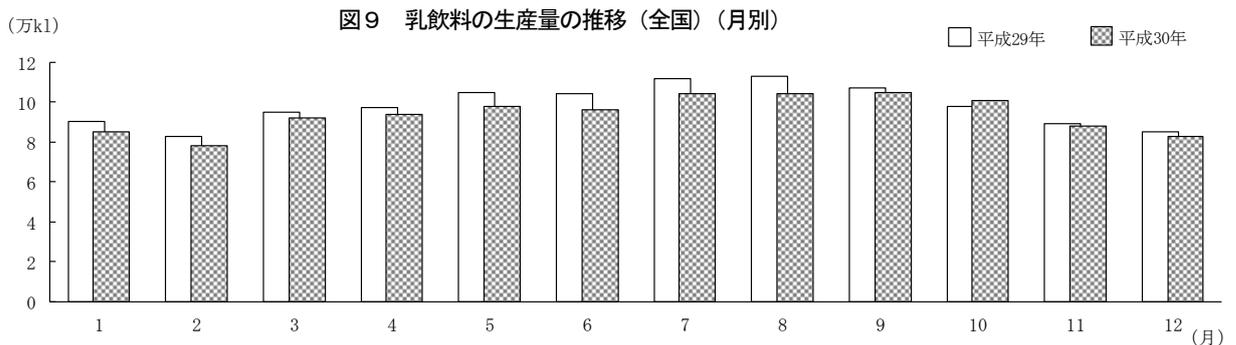


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量(全国)

単位: k1

年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成29年	1,177,800	1,072,051	124,495
30	1,129,372	1,067,820	125,563
対前年比(%)	95.9	99.6	100.9



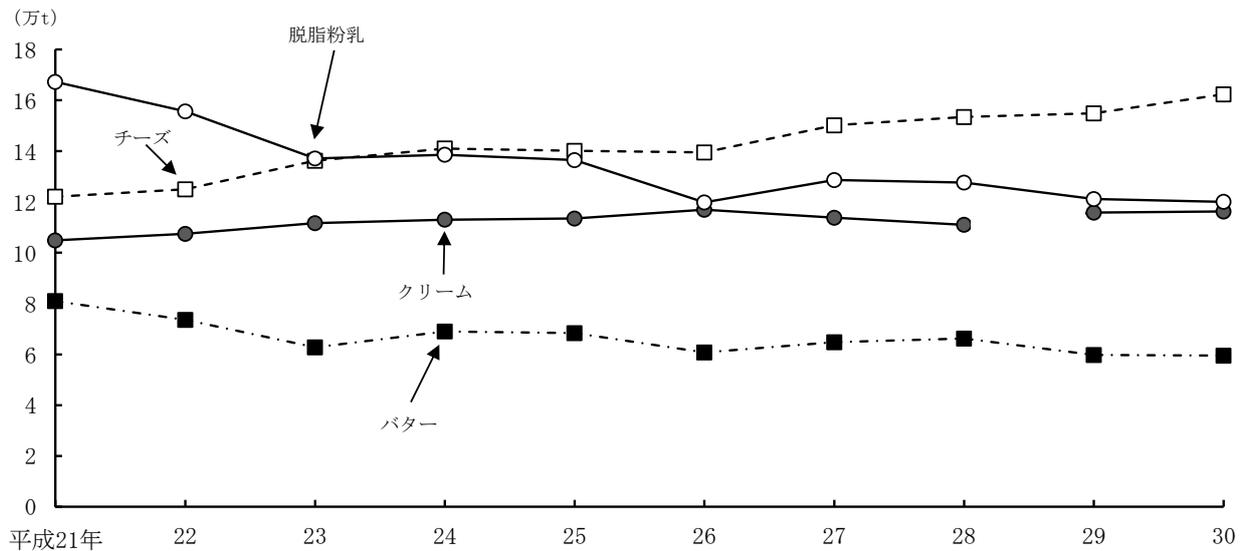
3 乳製品生産量

－ チーズの生産量は4.8%増加 －

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は12万4t、バターは5万9,499tで、前年に比べそれぞれ1,059t(0.9%)、309t(0.5%)減少した。

また、クリームは11万6,190t、チーズは16万2,360tで、前年に比べそれぞれ342t(0.3%)、7,437t(4.8%)増加した。

図12 主要乳製品の生産量の推移(全国)



クリームの生産量について、平成28年12月の調査までは、「クリームを生産する目的で脂肪分離したもの」に限定していたところであるが、29年1月以降は、バター、チーズを製造する過程で製造されるクリーム及び飲用牛乳等の脂肪調整用の抽出クリームのうち、製菓、製パン、飲料等の原料や家庭用として販売するものを含めている。このため、28年以前と29年とでは、数値の連続性が保てないことに留意されたい。

表7 乳製品の生産量(全国)

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
平成29年	9,415	121,063	26,728	19,008	59,808	115,848
30	9,795	120,004	27,771	19,367	59,499	116,190
対前年比(%)	104.0	99.1	103.9	101.9	99.5	100.3

年次	チーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	t	直接消費用ナチュラルチーズ t				
平成29年	154,923	29,384	34,635	470	3,985	147,708
30	162,360	29,535	32,412	461	3,845	148,253
対前年比(%)	104.8	100.5	93.6	98.1	96.5	100.4

図13 脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

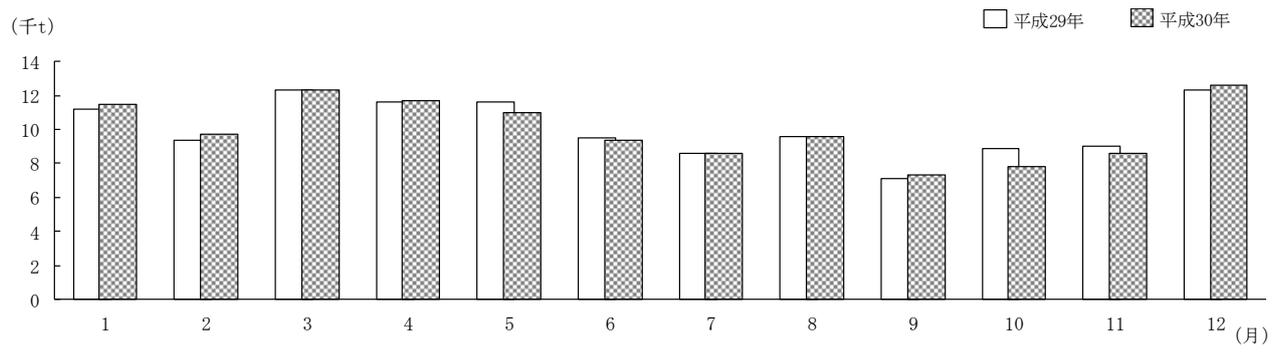


図14 バターの生産量の推移（全国）（月別）

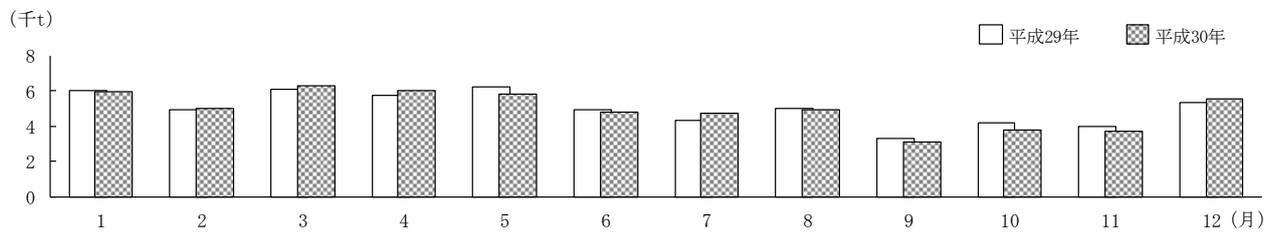


図15 クリーム生産量の推移（全国）（月別）

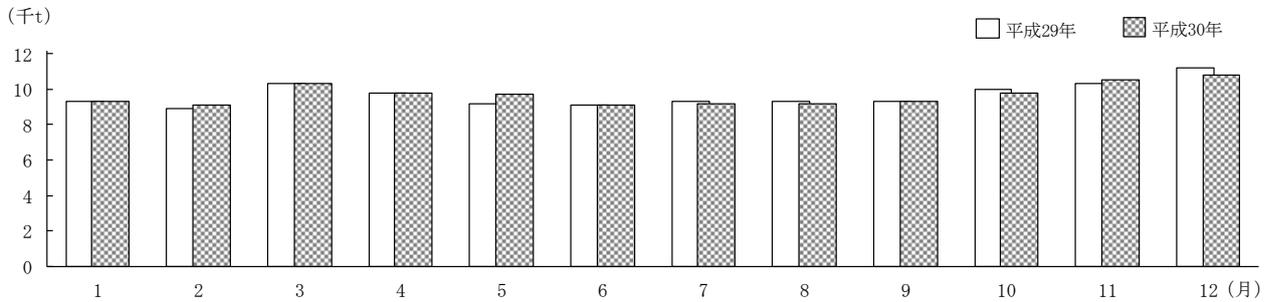
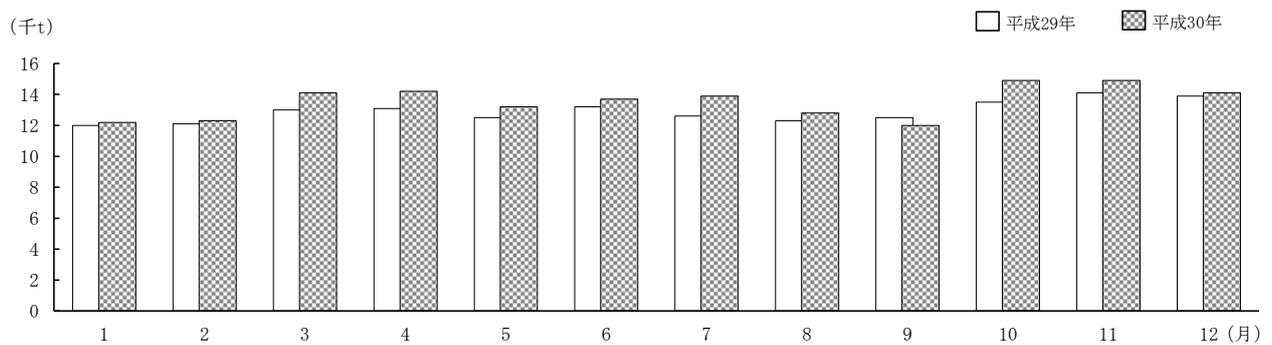


図16 チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

－ 牛乳処理場・乳製品工場数は571工場 －

平成30年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は571工場で、前年に比べ7工場減少した。

生乳を処理した工場を製造種別にみると、牛乳処理場が373工場で、前年に比べ5工場減少し、乳製品工場が146工場で、1工場減少した。

また、生乳処理量規模別にみると、1日当たり2t以上の工場数は、牛乳処理場が196工場で、前年に比べ1工場減少し、乳製品工場が40工場で前年と同じであった。

図17 生乳処理量規模別 工場数の推移 (全国) (12月31日現在)

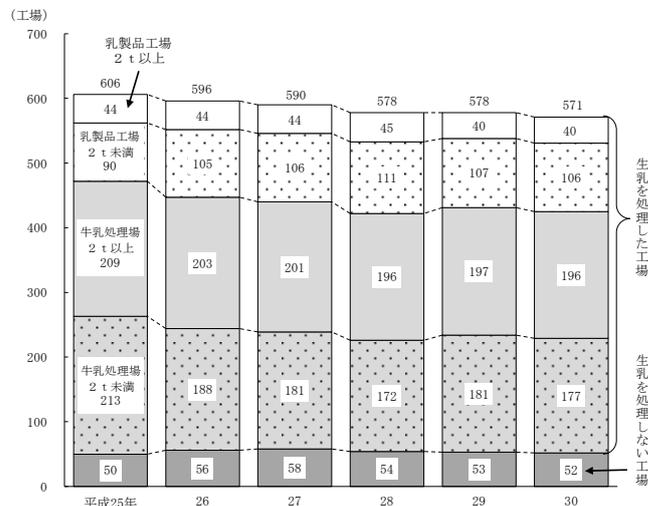


表8 生乳処理量規模別工場数 (全国) (12月31日現在)

区分	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	2t未満	2t以上	小計	2t未満	2t以上	
平成29年	578	525	378	181	197	147	107	40	53
30	571	519	373	177	196	146	106	40	52
対前年差	△7	△6	△5	△4	△1	△1	△1	0	△1
構成割合(%)									
平成29年	100.0	90.8	65.4	31.3	34.1	25.4	18.5	6.9	9.2
30	100.0	90.9	65.3	31.0	34.3	25.6	18.6	7.0	9.1

ここでいう牛乳処理場及び乳製品工場とは、12月における1日当たりの生乳の平均処理量を基に区分し、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」とした。

(2) 全国農業地域別工場数

－ 北海道の工場シェアは20.7% －

全国農業地域別の工場数をみると、北海道が118工場（全国に占める割合20.7%）で最も多く、次いで関東が115工場（同20.1%）、東北が62工場（同10.9%）の順となっている。

図18 全国農業地域別工場シェア (12月31日現在)

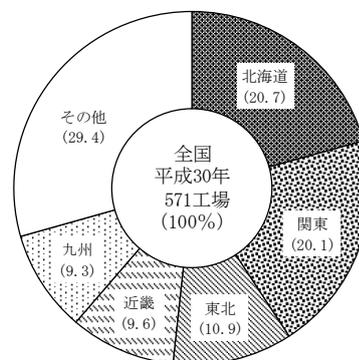


表9 全国農業地域別工場数 (12月31日現在)

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成29年	578	119	64	36	115	32	48	56	37	9	53	9
30	571	118	62	36	115	31	50	55	35	9	53	7
対前年差	△7	△1	△2	0	0	△1	2	△1	△2	0	0	△2

(3) 製造品目別処理場・工場数

一 牛乳を製造した工場は371工場 一

平成30年1月から12月に飲用牛乳等を製造した工場数は373工場で、このうち牛乳を製造した工場数は371工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は109工場であり、はっ酵乳、乳飲料、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ257工場、216工場、38工場であった。

乳製品を製造した工場数は319工場で、このうちチーズを製造した工場数は175工場、乳脂肪分8%以上のアイスクリームを製造した工場数は126工場であった。

表10 牛乳等を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計	牛乳			加工乳・成分調整牛乳					
		業務用	学校給食用	業務用	業務用	成分調整牛乳				
平成29年	384	382	157	198	112	15	61	221	258	40
30	373	371	156	195	109	15	61	216	257	38
対前年差	△ 11	△ 11	△ 1	△ 3	△ 3	0	0	△ 5	△ 1	△ 2

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない（表11において同じ。）。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

年次	乳製品											
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳				加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳		
平成29年	318	10	26	5	70	79	170	146	22	5	12	125
30	319	9	26	5	71	77	175	154	21	3	11	126
対前年差	1	△ 1	0	0	1	△ 2	5	8	△ 1	△ 2	△ 1	1

<参考>

－ 乳用牛の飼養動向 －

畜産統計調査（各年2月1日現在）

平成31年2月1日現在の乳用牛の飼養頭数は133万2千頭で、前年に比べ4千頭（0.3%）増加した。

図19 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移（全国）

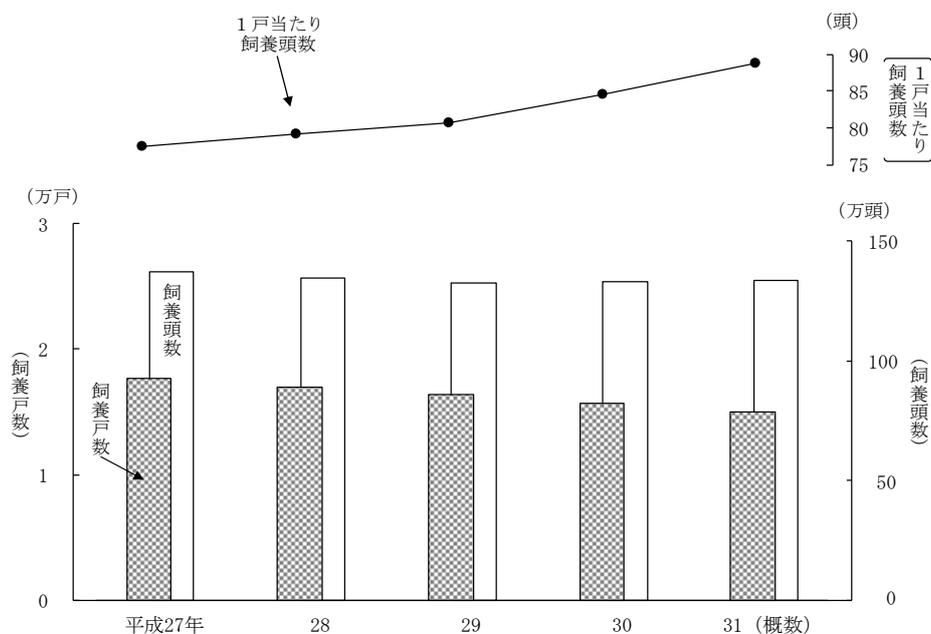


表12 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移（全国）

区分	単位	平成27年	28	29	30	31 (概数)
飼養戸数	戸	17,700	17,000	16,400	15,700	15,000
飼養頭数	頭	1,371,000	1,345,000	1,323,000	1,328,000	1,332,000
うち搾乳牛	頭	750,100	751,700	735,200	731,100	729,500
1戸当たり飼養頭数	頭	77.5	79.1	80.7	84.6	88.8